

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターむつみ		
○保護者評価実施期間	2026年2月12日		～ 2026年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36人	(回答者数) 33人
○従業者評価実施期間	2026年2月12日		～ 2026年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 24人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月23日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	充実した活動内容の実施	毎月発行しているセンターだよりと合わせて療育予定表をラインで配信し保護者に活動のねらいや目的を伝えている	定期的に活動中の子ども達の様子をHPで配信。また1年の振り返りとしてスライドショーで保護者に視覚的に伝えている
2	地域圏へ移行されたお子さんの継続支援	移行後も園との情報交換、園での困り感に対する助言等を行い新しい環境で安定して過ごせるよう取り組んでいる	
3	同一敷地内に放課後等デイサービスがあり、外出時の応援や行事等の協力など職員間の連携が取れている	両事業の行事等、活動内容を共有しあえる、応援しあえる職員間の環境づくりに努めている	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	臨時職員への情報周知不足	臨時職員は勤務日数・勤務時間もそれぞれ異なる。全体で周知する内容は周知できている(連絡ノート活用)が、お子さん一人一人の支援内容等細かな部分の情報を伝えきれない。	個人情報管理を徹底しながら支援に必要な部分の情報を共有していきたい
2			
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	子ども発達支援センターむつみ					公表日	2026年 4月 1日		
					利用児童数	2026年3月1日 現在36人		回収数	23人
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	3			ひとクラス5~6人で十分なスペース確保されていると思う。新しいものもあるけど、先生方がお掃除してくれているので綺麗。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	1			手厚く対応して頂いてと思います。 子供3人に対して先生1人 +みんなの先生が入っているので		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23				とてもわかりやすくなっていると思う		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	1			お迎えに行くとき先生方が丁寧に掃除やおもちゃの除菌などされていてとても清潔な環境だと思います。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22			1	あらゆる先生方と情報共有されていて安心できています。1ヶ月の活動プログラムを見た感じでは、専門的な内容が入っていると思う		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	3		1	1年前できなかった事が得意になっています とても嬉しいです		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23				説明が丁寧でわかりやすくて良い		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22			1			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21			2			
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	21			2	交流保育の機会が多くあったため		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22			1	懇談会などで確認できた		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22			1	懇談会などで説明があった		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	1		1	親の悩み相談なども個室で対応して下さいます		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22	1			連絡帳や送迎時に、1日の様子を教えて下さいます 連絡や対面で共有できた		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1			担任の先生と話す機会が少ないためわからない		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1		1	共感してくれるだけでなく、日頃の子育てを労って下さるのでモチベーションが高まります		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	2		3			
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22			1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	1		1	行事予定などのお知らせは早めに提示してくれるが、結果などはあまり知らされていない気がする
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1		3	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	2			定期的かは分からないが、実施はしていると思う
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	3		1	もう跡も消えていたのですがお友達に噛まれたという事を教えてもらい、また、その後どう処置をしたかも話して下さいました
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23				先生が大好きです。 毎日ニコニコで通園しています 楽しんで通所しています
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	2		1	毎日楽しく通っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23				日々の活動やイベントと要所で先生方の愛情を感じます

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こども発達支援センターむつみ				公表日	2026年 4月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	21	3	パーテーションや机の位置、刺激の少ない環境設定などで過ごしやすい配慮を行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	16	8	課題めしや活動の場所により、複数グループが同時に動く時が多い。その際は、全体を見る職員、補助の職員など声をかけ合い、安全に過ごすための配慮を行っている。	パートの人数を毎日確実に固定する必要がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	21	3	視覚支援のボードや写真の活用の他、職員が知らせ方を統一して伝えるようにしている。	子どもは転びやすいので、床をクッション性のあるものにてきたら安全性が高まると思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	22	2	課題遊びごとに3.2のグループ分けをしたり、個別活動の補償をすることで、発達段階に応じた支援を行っている。	床が硬く、冬は冷たい	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18	6	自立課題、発達検査、製作あそび等、個別に職員が付き支援を行っている。	クールダウンできる仕様の部屋があると良い	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	21	3	現場で一緒に考えた計画を事前に周知、実施当日に反省会、次への計画へと体系的に行なっている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	22	2	建物に関する要望には応えられないが、療育内容や個別への支援については柔軟に対応できるよう心がけている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	24		日々のミーティングで活動内容を共有する他、活動の立案前にも情報交換を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	21	3		市役所職員が実際にむつみに来て様子を確認した	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	22	2	六市療育者会、学校説明会、事業所連絡会、法人内研修等、参加する機会がある。参加後は、職員会議で伝講している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	22	2	支援プログラムに順じて、課題活動を実施、個別に評価している。	パートにも支援プログラム等を見せてほしい。もっと学びたい。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	24		アセスメントを細かく記載することで現場職員の気付きや保護者様と情報共有することができる。また、発達検査や発達状況シート、心理指導の情報等を活用し、評価しやすいように配慮している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	24		現場の職員と児童発達支援管理責任者の双方で利用者の様子や保護者からの情報を共有し、話し合う時間をもって計画を作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	23	1	活動ごとに個別でどう関わるかを事前に話し合い、無理なく進められるように配慮している。	パートまであまり降りてきていないと感じるので、情報共有してほしい。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	22	2	活動ごとに個別でどう関わるかを事前に話し合い、無理なく進められるように配慮している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	24		活動ごとに年間で活動を実施している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	24		課題あそびごとに担当配置。年間立案の他、月ごとに細かい療育内容計画を作成、反省を実施している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	23	1			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	24		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	24		毎朝各クラスの担任同士が話し合い、その日に行われる活動の確認を行なっている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	24		日々のミーティングで活動の反省を行い、現場での様子や進行方法、次回の活動準備等について話し合いを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	24		夕会の内容は記録を取り、臨時職員をはじめ、その場にはいない職員にも周知できるようにしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	24		必要に応じて、言語聴覚士や作業療法士、管理栄養士と現場で評価を行い、保護者確認の下、食形態や食具等、成長に合わせて適宜変更を行っている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	24		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	24		保護者の依頼の下、病院受診の付き添いや、必要に応じてかかりつけ医と情報共有を行っている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	24		並行通所児が地域の園に移行する際は、現場職員が地域の園の様子を見に行く、会議を行う、保護者様と密に連絡を取りあう等、少しでも不安感が軽減できるよう支援を行っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	1	支援学校の教諭が実際に支援センターを訪れ、利用児を観察、情報共有を行っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	24		中核機能を担う事業所として、定期的に講演会や会議等に参加している。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	24		三河青い鳥医療療育センターのDr.による心理指導、地域療育支援事業の他、研修会に参加している。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	22	2	センター長が参加
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	24		地域の園と交流保育を実施。年度初めに事前訪問、年度末には反省会を実施している。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	24		日々の連絡帳の他、細かなやりとりが必要な時は適宜電話連絡や訪問を行っている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	24			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	24		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	24		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	24		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	24		臨床心理師による心理相談を実施。対面だけでなく、リモートでも相談を受け付けている。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	24		父母の会の活動を支援している。補助事業を受けての行事開催や、保護者同士の交流の他、年に2回、支援センター合同できょうだい支援を実施している。		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	24				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	23	1		毎月のセンター便りの他、講演会やイベント等、積極的に配信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	24			いただいた個人情報は、鍵のかかる書庫にて保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	24				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	19	5		法人内で夏祭り、クリスマス会を開催。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	23	1			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	24			月に一度、様々な場面を想定した避難訓練を行なっている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	24			アセスメントを元に、看護師と事前に容態確認を細かく実施。実際に発作が起きた際の対応や、連絡方法について細かく周知している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	24			アレルギーのあるかないか毎回メニューの確認を複数でおこなっている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	24				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	24				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	24				
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	24				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	23	1				